



日本郵船株式会社

海運事業の個別システムを集約しデータ活用、さらなるDX推進へ！

ノーコードで運航管理システムVIPとSAPの連携処理を開発、開発工数を1/6に削減

日本郵船株式会社は、海上輸送から陸上輸送、航空輸送に至るあらゆる輸送モードに対応する総合物流企業。特に海上輸送の領域では、国内・海外合わせて350以上の都市の港に運航船舶が乗り入れているなど、世界有数の海運会社として知られる。同社では、現場が直面する課題をデジタル技術やデータ分析で解決するためDXを推進。しかし、部門ごとにオンプレミス環境で個別に運用していた海運事業システムの老朽化が課題に。そこで、運航管理業務をトータルに支援するクラウドサービス「Veson IMOS Platform」（以下、VIP）を導入し各システムを集約。会計システムなど社内システムとのデータ連携に「ASTERIA Warp」を採用し、業務プロセスの最適化を実現した。さらに、これまで蓄積してきた船舶・運航データとVIPの事業データをかけ合わせたかたちで可視化・分析できる環境を整えた。

導入背景

- 部署ごとに運用していた個別システムが老朽化し、蓄積されたデータの活用や業務プロセス改善など、DXの取り組みを進めるうえでボトルネックになっていた
- 基幹システムとしてVIPを導入するにあたり、会計システム（SAP）など社内システムとのデータ連携を内製で構築する必要があった
- 連携処理は高品質かつ短期間での開発が求められるためノーコードツールを検討していた

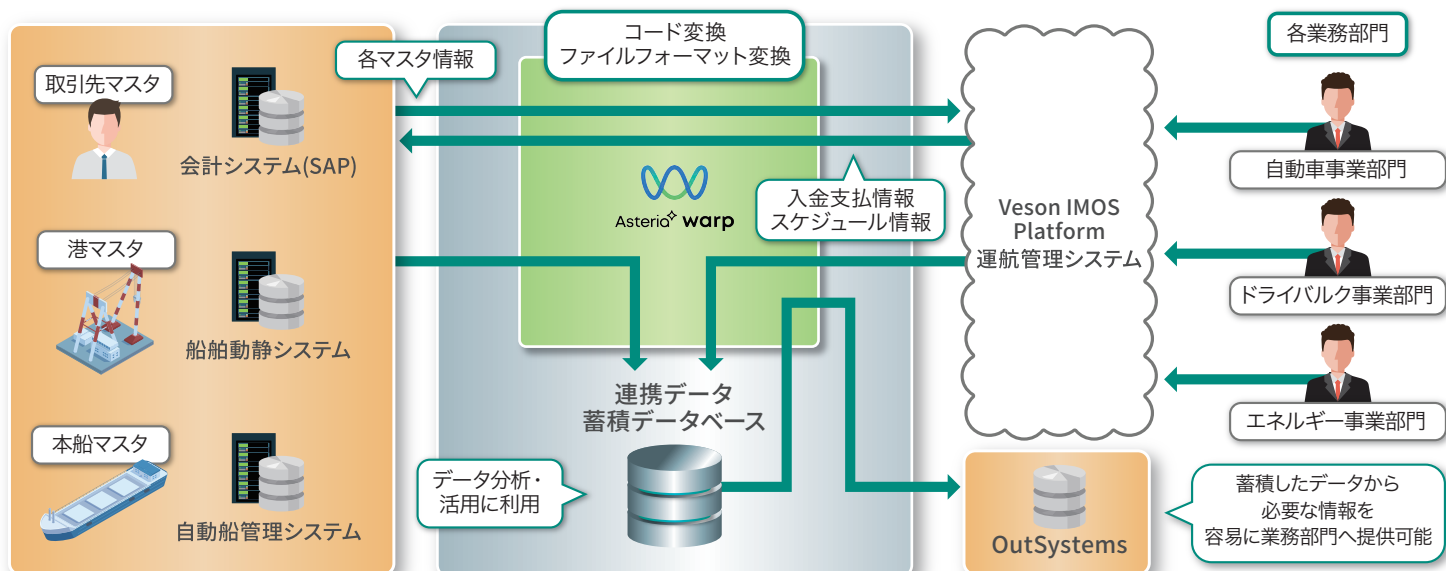
選定ポイント

- ノーコードによる直感的な開発と、マッピング、デバッグなどの充実した機能により、データ連携の仕組みを開発者のスキルを問わず迅速に実装可能
- トライアル期間中に、システム連携に必要なファイルフォーマットやコード変換などデータ加工を柔軟に行えることを確認できた
- ヘルプページや開発ドキュメントが充実しており、ユーザーコミュニティ活動も活発で技術情報の入手が容易

効果

- 個別システムをVIPに統合。VIPとSAPをシームレスに連携し業務プロセスの改善やデータ活用を円滑に推進する環境を構築
- 約60本の連携処理を構築。開発工数は、Javaでのスクラッチ開発と比較して1/6に短縮。今後想定される新たな連携や既存フロー改修の要請にも迅速に対応可能
- 入社1年目の開発未経験者でも、経験豊富な開発者と同レベルの品質で開発が可能

システム概要



ユーザーのひと言



海運事業のシステム統合プロジェクトは現在も継続中ですが、システムのクラウド化による運用負荷の軽減や、業務効率化などの成果が現れてきています。特にデータ活用では、各システムが保持するさまざまなデータを蓄積する仕組みを構築し、多様なデータを掛け合わせて高度な分析が可能になりました。開発時に直面したエラーや困りごとは、ユーザーコミュニティや技術情報サイトを活用して解決でき、スムーズな開発に役立っています

阿部 様
 剣持 様
 横川 様

User Profile



日本郵船

所在地：東京都千代田区丸の内二丁目3番2号 郵船ビル

会社概要：海、陸、空にわたるグローバルな輸送サービスを提供する世界有数の総合物流企業。

業種：海運業

URL：https://www.nyk.com/